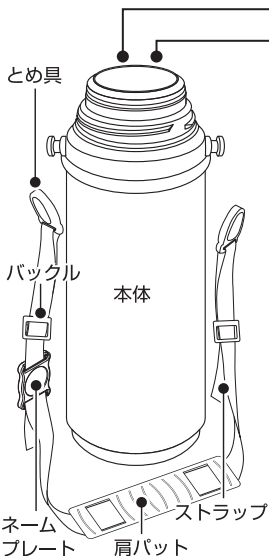


sokomo

そこまで洗える3WAYキッズボトル 取扱説明書

SAKB

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は家庭用です。飲料物の保温、保冷以外には使用しないでください。
また、業務用として使用しないでください。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。お読みになった
後も、いつでも見られるように大切に保存してください。



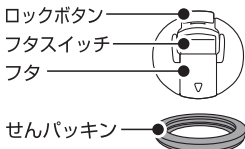
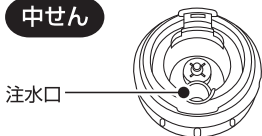
中せん(コップ付き)

保温・保冷両用

コップ



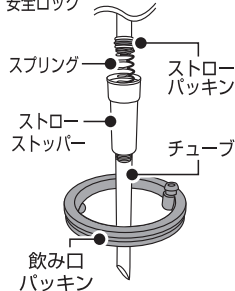
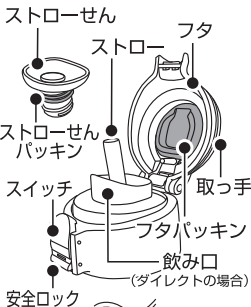
中せん



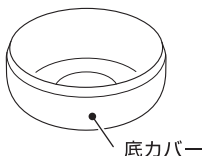
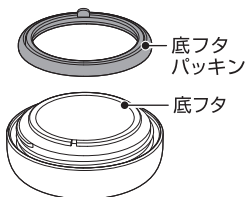
ダイレクト・ストローユニット

保冷専用

ダイレクト ストロー 兼用ユニット



底フタユニット



※お買上げ時は装着済みです

《注意》パッキンが確実に装着されていることをご確認ください。

説明書中のイラストは実際のもとは異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することが
ありますのでご了承ください。

D240612

■ご使用になる前に

- はじめてご使用になる前に、本体の傷・凹み、コップ・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 底面の製造ロットシールをはがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・コップ・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットを中性洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または当社お客様相談室までご連絡ください。

ご使用方法

中せん(コップ付き)

保温・保冷両用

飲みものを入れる

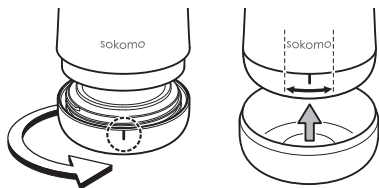
1 底フタを閉めます。

1.底フタを矢印の方向にまわしてください。

- 注** 飲みものが漏れないように、底フタにある凸部が本体ロゴの真下付近になるまで最後まで確実に締め付けてください。

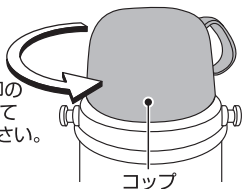
2.底フタ部に底カバーを付けてください。

- 注** 底カバーには装着しやすいように空気を抜く小さい穴があいています。

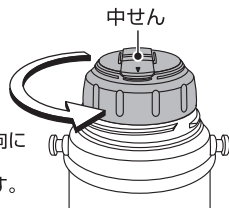


2 コップと中せんをはずします。

コップを矢印の方向にまわしてはずしてください。



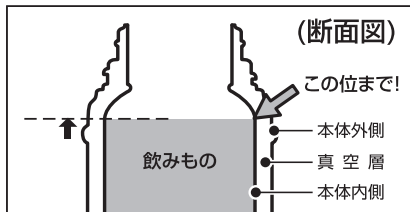
中せんも矢印の方向にまわしてはずします。



3 飲みものを入れます。

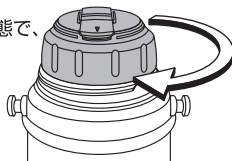
飲みものの量は右記の位置までに入してください。入れすぎると、フタスイッチ操作が固くなったり中せんを閉めるとき、中身があふれることがあり危険です。

本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。



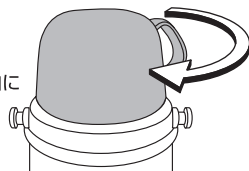
4 中せんとコップを閉めます。

本体を立てた状態で、中せんと矢印の方向にまわして閉めてください。



※中せんとフタが確実に閉まっていることを確認してください。

コップも矢印の方向にまわして閉めます。



※コップが確実に閉まっていることを確認してください。

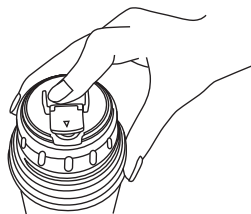
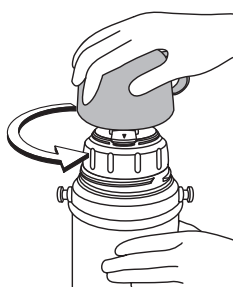
注 中せんを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物があふれ出たり、漏れたりして、ヤケドやものを汚す原因になります。

※せんパッキンは必ず正しく取りつけているか確認をしてください。

飲みものを注ぐ

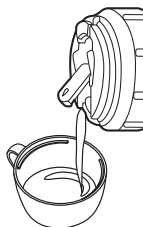
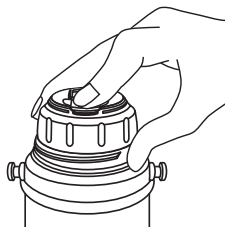
1 飲みものを注ぎます。

1. 本体を立てた状態で、本体を押さえて、コップを矢印方向にまわしてはずします。



2. フタスイッチを押して、フタを開き、飲みものをコップに注ぎます。

注 フタスイッチが固くて押せないときは、無理やり押さないで一度中せんをゆるめてください。その後フタスイッチを指で押し下げ、フタを開けたまま中せんを閉め直してください。

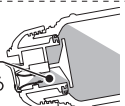


3.フタを押して中せんのフタを閉じます。

注

本体を傾けた状態で中せんのフタを閉じないでください。注水口に少量の飲みもの残り、飲みものもれるおそれがあります。

中せんに飲みものが残る



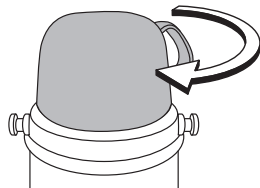
4.コップに口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲みます。

注

熱い飲みものを入れた場合は、ヤケドにご注意ください。

2 飲み終わったら。

コップの中の水分が残らないようにし、本体を立てた状態で、中せんとフタがしっかり閉まっていることを確認し、コップを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。閉めた後は、コップが確実に閉まっていることを確認してください。



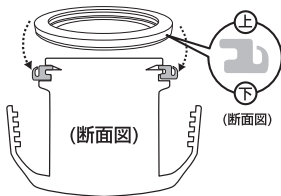
せんパッキンの取り付け方・はずし方 中せん(コップ付き) 保温・保冷両用

せんパッキンの取り付け方・はずし方

取り付け方

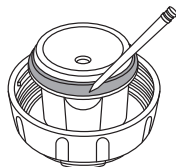
上下の方向を確認し、中せんに正しく取り付けてください。取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

※パッキンは幅の広い面を下向きにして取り付けてください。



はずし方

つまようじなどでパッキンを破損しないように注意してはずしてください。

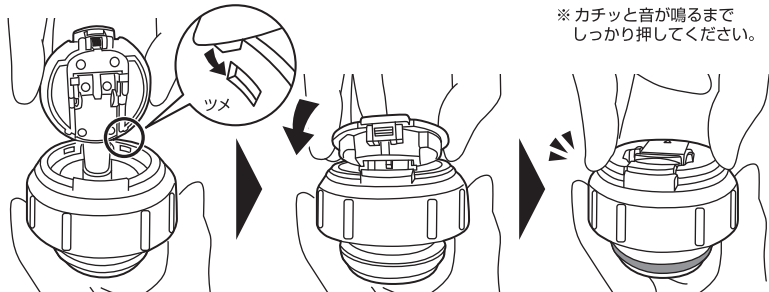


■ 中せんの取り付け方・はずし方

取り付け方

上下の方向を確認し、中せんを正しく取り付けてください。
中せんが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

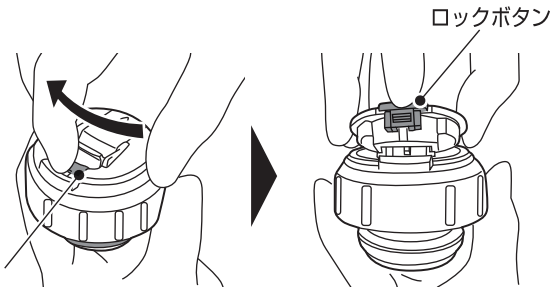
ツメ部分を入れてから
はめてください。



はずし方

ロックボタンを
押しながら
上に引き上げて
はずしてください。

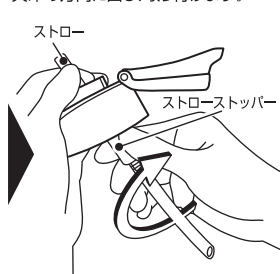
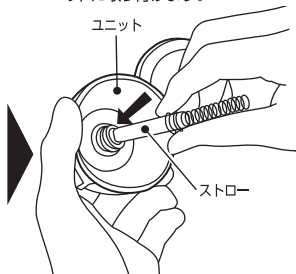
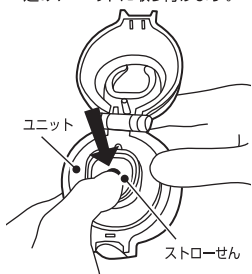
ロックボタン



■ ストローユニットの取り付け方・はずし方

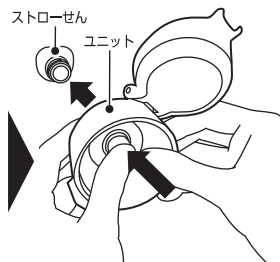
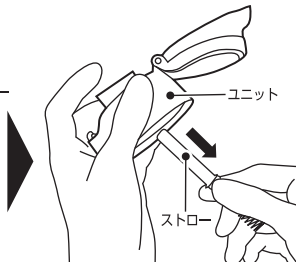
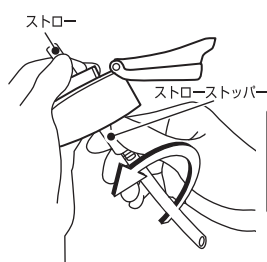
取り付け方

1. ストローせんを矢印の方向に押し込み、ユニットに取り付けます。
2. ストローを矢印の方向に差し込み、ユニットに取り付けます。
3. ストローを持って、ストローストッパーを矢印の方向に回し、取り付けます。



はずし方

1. ストローを持って、ストローストッパーを矢印の方向に回し、外します。
2. ストローを矢印の方向に引き下げ、ユニットから外します。
3. ストローせんを矢印の方向に押し、ユニットから外します。

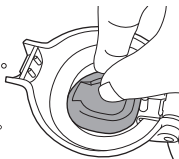


※ストローを外したユニットは
ダイレクトせんとしてご使用できます

フタパッキンのはずし方

フタを開けた状態で、
手でつまみではずしてください。

※正しく取り付けられていないと、
漏れや作動不良の原因になります。



フタパッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、正しく取り
付けてください。

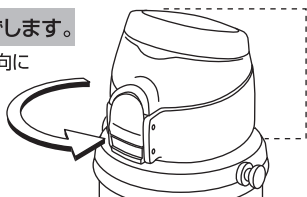
※取り付け後は、ダイレクト
ユニットが正常に動くことを
確認してください。

スプリング



1 ダイレクト(ストロー)ユニットをはずします。

ダイレクト(ストロー)ユニットを矢印の方向にまわしてはずしてください。

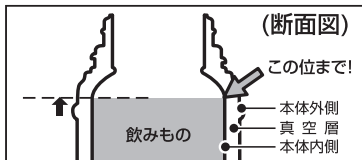


ダイレクトユニット
or
ストローユニット

2 飲みものを入れます。

飲みものの量は右記の位置までにしてください。入れすぎると、ダイレクト(ストロー)ユニットを閉めたときに飲みものがあふれ出る原因になります。

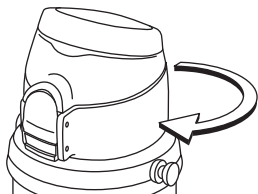
本体に少量の冷水を入れ、数分間予冷すると保冷に効果的です。



※フタパッキン・飲み口パッキンは必ず正しく取りつけているか確認をしてください。

3 ダイレクト(ストロー)ユニットを閉めます。

本体を立てた状態で、ダイレクト(ストロー)ユニットを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。閉めた後は、フタが確実に閉まっていることを確認してください。



注 ダイレクト(ストロー)ユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物があふれ出たり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。

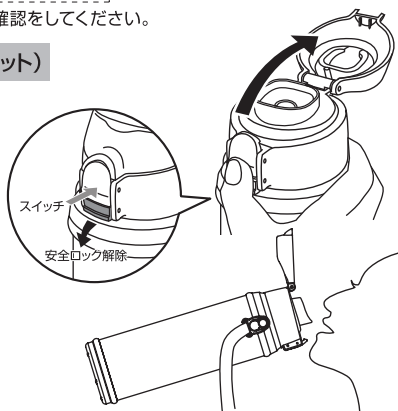
※各種パッキンは必ず正しく取りつけているか確認をしてください。

4 飲みものを飲みます。(ダイレクトユニット)

1. 本体を立てた状態で、安全ロックを矢印の方向に動かして解除します。
2. スイッチを押してフタを開けます。

注 飲み口に残っていた水滴などが飛散することがありますので、ご注意ください。

3. 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲みます。

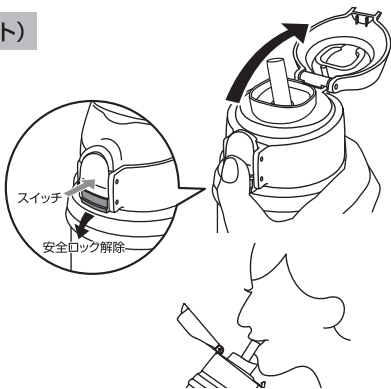


5 飲みものを飲みます。(ストローユニット)

1. 本体を立てた状態で、安全ロックを矢印の方向に動かして解除します。
2. スイッチを押してフタを開けます。

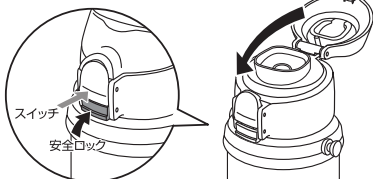
注 飲み口に残っていた水滴などが飛散することがありますので、ご注意ください。

3. ストローに口をつけて、ゆっくり吸いながら飲みものを飲みます。



6 飲み終わったら。

1. 本体を立てた状態で、「カチッ」と音がするまでフタを閉めます。
2. 安全ロックを図のように矢印の方向に動かして、確実にロックします。

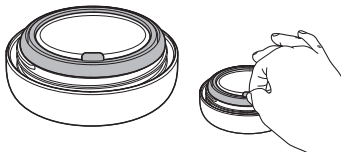


底フタパッキンの取り付け方・はずし方

底フタユニット

底フタパッキンのはずし方

底フタパッキンの上面凸部分にあるタブをつまみはずしてください。底フタパッキンを破損しないように注意してください。



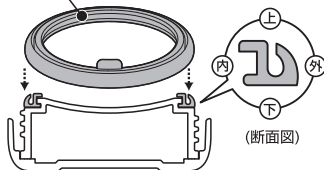
※ 正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。

※ 取り付け後は、せんユニット、底フタユニットが正常に取り付くことを確認してください。

底フタパッキンの取り付け方

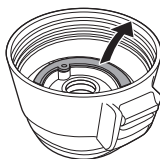
上下の方向を確認し、フタに正しく取り付けてください。取り付け後は、底フタパッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

注 みぞのない面を downward 向きにして取り付けてください。(タブは上面)



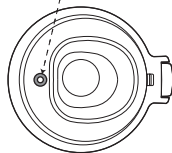
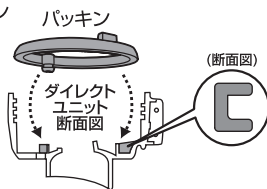
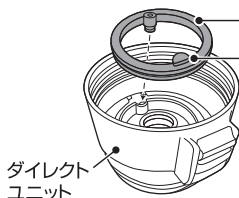
飲み口パッキンのはずし方

パッキンを破損しないように注意してはずしてください。
パッキンのつまみ部分を手でつまんで慎重にはずしてください。



注 飲み口側にパッキンが出ていていることを確認してください。

飲み口パッキンの取り付け方

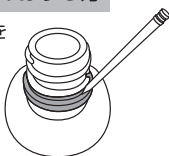


上下の方向と穴の位置を確認し、ダイレクトユニットに正しく取り付けてください。
取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。
※取り付け後は、ダイレクトユニットが正常に動くことを確認してください。

ストローせんパッキンのはずし方

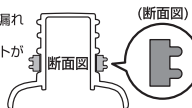
つまようじなどでパッキンを破損しないように注意してはずしてください。



ストローせんパッキンの取り付け方

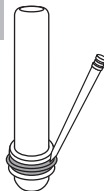
みぞのない面を内側にして取り付けてください。

※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。
※取り付け後は、ストローユニットが正常に動くことを確認してください。



ストローパッキンのはずし方

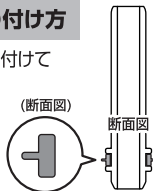
つまようじなどでパッキンを破損しないように注意してはずしてください。



ストローパッキンの取り付け方

みぞのない面を内側にして取り付けてください。

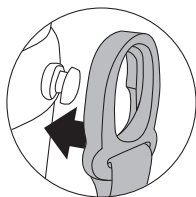
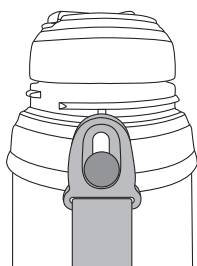
※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。
※取り付け後は、ストローユニットが正常に動くことを確認してください。



ご使用方法

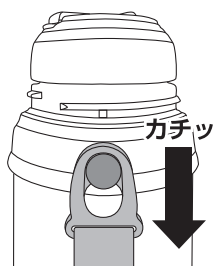
■ストラップの取り付け方・はずし方

取り付け方



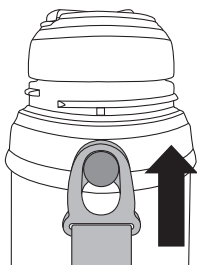
本体のサイドについている凸部をストラップのとめ具の穴に合わせる。

とめ具をカチッという音がするまで矢印の方向に差し込みます。



はずし方

とめ具を取り付けるときと逆方向に押しはずします。



注

本体を洗う際は、必ずストラップをはずしてから洗ってください。

■ネームプレートのご使用

名前の書き方

名前を記入する際は油性ペンをご使用ください。



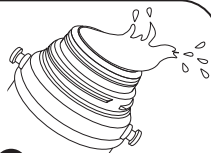
お手入れについて

- お手入れはぬるま湯でうすめた中性洗剤を使用してください。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

本体内側のお手入れ

よくすすぎ、十分に乾燥させてください。

本体内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を本体内側に入れ30分間（目安）つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。



注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体は中せん及びダイレクトユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上がり、中せんが破損するおそれがあります。酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注 本体は水中に放置しないでください。

コップ・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットのお手入れ

それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。洗浄時にパッキンを外す場合は、パッキンの付け間違いないようにパッキンの上下を確認してください。



お手入れ上の注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体・コップ・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットは煮沸しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

■本体は水中に放置しないでください。

本体と底の隙間に水が侵入し、サビや保温・保冷不良などの原因になります。

■塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、保温・保冷不良の原因になります。

■本体外側には漂白剤を使用しないでください。

本体塗装・ロットシールなどの剥がれの原因になります。



警告

- お子様の誤使用には十分注意してください。
- 小さなお子様がご使用になる際は、保護者の監督のもとで使用させてください。
- **ダイレクトタイプ・ストロータイプは保冷専用です。熱い飲みものの保温用途でのご使用はしないでください。**



使用上の注意

- **底フタが確実に装着されていることを確認してください。**
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
底フタパッキン・ユニットのパッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着にご注意ください。
- **パッキンが確実に装着されていることを確認してください。**
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
飲み口パッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。
- **熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ず守ってください。**
 - 傾けた状態、または顔を近づけた状態でフタスイッチを押さないでください。
飲みものが急激に出たり、飛散したりしてヤケドの原因になり危険です。
 - 本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。
急に傾けると、飲みものが勢いよく出てヤケドなどの原因になり危険です。
 - 熱いものを入れた場合は直接飲まないで、必ずコップをご使用ください。
飲みものが勢いよく出てヤケドの原因になります。
- **中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットは必ず外してから飲みものを入れてください。**
- **底フタユニット・コップ・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットが確実に閉まっていることを確認してください。**
閉めかたが不十分ですと、傾けた場合飲みものが漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
また、中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットは真っ直ぐに閉めてください。
- **飲みものの保温・保冷以外には使用しないでください。**
また、ダイレクトユニット・ストローユニット使用時は保冷専用です。

⚠ 使用上の注意

● ストープやコンロなどの火気に近づけないでください。
ヤケドや製品の変形、変色の原因になります。

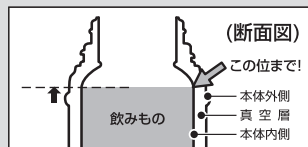
● 食器用洗浄機や食器用乾燥機は使用しないでください。

● 電子レンジでの加熱はしないでください。
火花が飛び危険です。

● 冷凍庫には入れないでください。

● **底フタユニット・コップ・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットは傾けた状態で開閉しないでください。**
飲みものがあふれ出す原因になります。また濡れて、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。

● **飲みものの量は右記の位置までにしてください。**
入れすぎるとフタが開かなくなったり、中せん及びダイレクトユニット・ストローユニットを閉めたときに飲みものがあふれ出す原因になります。
また、使用中にあふれ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。



● コップ・中せん及びダイレクトユニットを開ける際は、本体とコップ、中せん及びダイレクトユニットを一緒に持って開けてください。

● **飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。**
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットが破損して飛散することがあり危険です。

● **飲みものを入れた後、本体を逆さにして漏れないことを確認してください。**

● 次のものは絶対に入れないでください。

■ ドライアイス・炭酸飲料水

内圧が上がり、中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットが破損して飛散することがあり危険です。

■ みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、塩分によりサビの原因になります。

■ 牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの

成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットが破損して飛散することがあり危険です。

■ お茶の葉・果肉

すきまなどにつまり、漏れてヤケドやものを汚す原因になります。

使用上の注意

- **スポーツドリンクを入れた場合は、使用後すぐにお手入れしてください。**
スポーツドリンクに含まれる塩分は、本体ステンレス部分のサビ発生原因となります。
- **においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。**
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
- **落としたり、ぶつかけたりして強い衝撃を与えないでください。**
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。また中せん及びダイレクトユニット・ストローユニットの破損原因になります。
- **改造・修理・分解は絶対にしないでください。**
故障、事故の原因となり危険です。
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。**
万一の漏れを防ぎます。
- **パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。**
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になるおそれがあります。
- **運転中は危険ですので使用しないでください。**
車内や衣服を汚したり、ヤケドの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。
- **お手入れの際、次の点を必ず守ってください。**
 - 本体・コップ・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットは煮沸しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。
 - 食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。
- **ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。**
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- **持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。**
 - 持ち運ぶ際は、フタをきちんと閉め、安全ロックを確実にロックしてください。
 - 飲みものを入れた状態で置いておくときは、安全ロックを確実にロックしてください。
- **本体の口元に熱いヤカンなどをあてないでください。**
口元の変形・キズ、転倒してヤケドなどの原因となり危険です。
- **ストラップを首にかけてぶざけたり、ストラップを持って振り回さないでください。**
故障、事故の原因となり危険です。

使用上の注意

●底フタは最後まで確実に締め付けてください。

●底カバーは必ず装着して使用してください。

困ったときのQ&A

Q 飲みものが漏れたときは？

- A**
1. 底フタユニット・その他ユニット・フタがしっかり閉められているか確認してください。
 2. 飲みものを入れすぎていないか確認してください。
飲みものの量は適正な位置までにしてください。
 3. パッキン類が確実に取り付けられているか確認してください。
上下の方向を確認し、本体に正しく取り付けてください。
取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。
 4. 底フタユニット・その他ユニットが破損、消耗していないか確認してください。

Q 本体内側が変色したときは？

- A**
1. 汚れが付着している場合、中性洗剤をつけたスポンジなどでよく洗ってください。
 2. 斑点状の赤いサビが付着している場合
水に含まれる鉄分などが付着したものです。
食酢を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に柔らかいスポンジなどでよく洗ってください。
 3. ザラザラしたものが付着している場合
水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。
クエン酸を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、中せん・ダイレクトユニット・ストロウユニットを取り付けずに約3時間後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。

Q 保温・保冷が効かないときは？

- A**
1. 熱い(冷たい)飲みものをいれているか確認してください。本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。
 2. 飲みものの量が少なくないか確認してください。
飲みものの量を多くすると効果的です。

困ったときのQ&A

Q 異臭がするときは？

A 本体内側・底フタユニット・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットに汚れが付着していないか確認してください。ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

底フタユニット・中せん・ダイレクトユニット・ストローユニットのパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面のザラつきや損傷のある場合は交換してください。